

施策評価シート(令和2年度実施施策)

総合計画 体系	政策	4	政策名	元気と賑わいのある産業づくり	施策主管課	産業振興課
	施策	4-1	施策名	農業の振興	施策主管 課長名	金子 吉弘
関係課	産業振興課 農業委員会					

1. 施策の目的

対象	①農業者（個人・組織）	意図	①安定した農業経営がなされる
	②農地		②保全される

2. 成果指標

指標名	単位	現状値	上段：目標値				下段：実績値
			平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
認定農業者数（増加）	経営体	235	268	270	272	274	276
			268	260	259	246	225
農業振興地域内の耕作放棄地（維持）	ha	92	90	90	90	90	90
			55	58	62	69	68
農業総収入（増加）	千円	4,905,456	4,955,000	5,005,000	5,055,000	5,105,000	5,155,000
			5,107,088	5,011,430	4,833,178	4,979,295	4,978,757

3. 指標の分析（成果が向上した、またはしなかった理由）

高齢の認定農業者が経営移譲等により再認定を断念したことが目標値に達成しなかった要因と考える。
荒廃農地解消事業補助金を交付し、1.1haの耕作放棄地が解消されたため減少した。
米価の変動と高齢化により農家数が減少したことが目標値に達成しなかった要因と考えられる。

4. 課題に対する取組（今年度重点的に取り組んだ課題）

<ul style="list-style-type: none"> <li>耕作放棄地解消については、今後潜在的に耕作放棄になる可能性のある農地について事前に対策を行い、さらに、町単独事業により解消を進めたが、新たな耕作放棄地があり微減で推移した。</li> <li>農業所得の向上を図るため、水稻と園芸作物との複合経営を推進し、認定農業者等へ関連補助事業等の周知を図った。また、コロナの影響により収入が減少した認定農業者に支援を行った。</li> <li>有害鳥獣による農作物の被害を抑えるため、防護柵（電気柵）の設置支援や捕獲に取り組んだ。</li> </ul>
--

5. 次年度の方向性

農業所得の向上を図るため水稻と園芸作物の複合経営化を推進する。また、新規就農者の支援として、就農後もサポートチームによる指導や助言をすることで担い手の確保を図る。農業振興地域内の耕作放棄地の増加を防ぐため、引き続き耕作放棄地対策事業を実施する。さらに、有害鳥獣対策のため防護柵（電気柵）の設置支援や捕獲を行い、農作物や農地の被害防止に努める。
---

重点的に取り組む課題

耕作放棄地の解消
新規就農者・担い手に対する支援
六次産業化への支援
農作業の省力化を図る新技術導入への支援
有害鳥獣による被害防止

施策の重点事業

耕作放棄地対策事業
新規就農者・担い手育成事業
六次産業化支援事業
農業生産力強化支援事業
有害鳥獣防除事業

## 6. 施策を構成する事務事業

番号	事業通番	事務事業名	令和2年度決算額 (千円)	最終評価結果	
				事業実施の方向性	成果の方向性
1	4177	農業委員視察研修事業	0	廃止・休止又は統合	休廃止(再設定)
2	4181	耕作放棄地解消事務	924	継続	現状維持
3	4993	国営造成施設管理体制整備促進事業	15,924	評価対象外	評価対象外
4	4995	国営会津宮川土地改良事業(二期)償還負担金	158,411	評価対象外	評価対象外
5	5018	有害鳥獣防除事業	9,373	継続	拡充
6	5019	農道管理事業	2,518	評価対象外	評価対象外
7	5228	多面的機能支払交付金事業	115,995	改善して継続	拡充
8	5229	土地改良事業補助金	4,897	継続	現状維持
9	5234	農業用施設改修工事等事業	495	継続	現状維持
10	5773	農業委員会運営事務	5,996	改善して継続	拡充
11	5776	新規就農者支援事業補助金交付事業	21,885	継続	拡充
12	5779	がんばる農業応援事業	7,754	継続	現状維持
13	14609	六次産業化支援事業	4,386	継続	拡充
14	16076	農業生産力強化支援事業	4,804	継続	拡充